

武尚学友

市民大会・予選リーグの結果

11日(土)～13日(月)、市民大会の予選リーグが行われました。結果は以下の通りです。

● 予選リーグ

11日(土)

- ① 商業 0対7 実業(Aブロック)
- ② 麗明 18対2 工業(Bブロック)
- ③ 北高 1対2 浦高(Cブロック)

12日(日)

- ① 工業 1対11 市高(Bブロック)
- ② 浦高 17対7 東高(Cブロック)
- ③ 実業 11対3 西高(Aブロック)

13日(月)

- ① 東高 9対4 北高(Cブロック)
- ② 西高 2対9 商業(Aブロック)
- ③ 市高 4対8 麗明(Bブロック)

● 決勝トーナメント

18日(土)

- ① 浦学 対 市高(2位代表)
- ② 実業 対 浦高・・・(準決勝)
- ③ ①の勝者 対 麗明・・・(準決勝)

19日(日)

- ① 前日③の敗者 対 前日②の敗者
(3位決定戦)
- ② 前日③の勝者 対 前日②の勝者
(決勝戦)

◎ 注意事項

- 18日の第1試合は8時30分～
19日の第1試合は9時～となります。
- 9回で同点の場合、10回からタイブレークを行います。また、決勝戦のみ「コールドなし」で行われます。

阪神(岡田監督の采配)から学ぶ④

普段から「見えない力」「数字等にはならない力」を重視しています。「見える力」だけで、私立強豪校に勝利するのは難しいからです。

日本シリーズの戦前、阪神ファンである私は、聞かれるたびに(シリーズの予想を)「4連勝で阪神」と言っていましたが、正直内心は「4勝2敗でオリックスかな」・・・とっていました。それぐらいの戦力差(=見える力)があるのでは・・・そんな感じがしていたのです(特に攻撃面)。

ところが結果は皆さんご存知の通り・・・

岡田監督の絶妙な(選手を奮い立たせる)起用が大きな力を発揮したのです。いくつも驚かされる選手起用が・・・まず、2戦目にベテラン・西(勇)投手を先発で起用したこと、日本シリーズは4勝した方が勝ちというルールですので、2戦目が一番大事という考えがあります。なぜかという、7戦目までもつれた場合、この2戦目に投げた投手が7戦目に投げるパターンが多いからです。そこに今シーズンいまいち調子の上がらなかった西投手を起用した・・・ベテランが意気を感じない訳がありません。また、ピンチ場面での湯浅投手の起用・・・これにも驚かされました。糸原選手の代打起用も同様でした。

最大の驚きは、運命の一戦、第7戦に青柳投手を先発起用したことでしょうか・・・伊藤投手が先発だろ・・・誰もがそう思ったに違いありません。ただ冷静に考えると、伊藤投手を試合後半に残しておいた方が勝機ありという考えも納得なのです(では誰が前半をしのぐか?その結論が青柳投手だったのでは・・・)岡田監督は「開幕戦を投げたオマエが今シーズン最後のゲームを締めろ!」そう送り出したと書かれていました。青柳投手でなくても奮い立ちますよね・・・

限られた戦力の中、その最大限を引き出す采配と選手起用、プロとアマ、実力も全然違いますが、私も参考にしたいと思います。